

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月31日

事業所名: 児童発達支援 ゆわっこのおうち

対象人数(保護者)24人 回答者数 18人 回収 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					常に安全が確保できるよう活動内容に応じて 机の台数や移動できる棚の場所を変えながら支援しています。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	17			1		活動範囲が広いので、1対1もしくは子ども2対保育者1での人員配置を行っており、基準配置(子ども10人に対して保育者2人)を大幅にこえる体制をとっております。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1				活動空間は子どもたちが遊びやすいように空間を広くしており、落ち着かないお子様には一人に慣れる空間として「静養室」を設置。トイレはスリッパ置き場に足型を置いたり、手洗い場には手洗いのやり方を掲示。ドアの施錠などは大人と一緒にないと触らないなどの約束も見て分かるように掲示しております。ご希望の方には療育中の場をみていただく時間を設けますのでお声がけいただければと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					職員だけでは対応が難しい細やかな清掃・消毒業務などは、毎日清掃担当スタッフを配置して行っています。今後も事務所内の整理整頓・清潔維持・美化に努めてまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			専門の先生がどれほどいらっしゃるのかが気になります。	令和8年度は、以下の体制で支援を行ってまいります。 ・児童指導員（経験年数5年以上）6名 ・保育士 1名 ・児童発達支援管理責任者 1名  さらに、育児発達支援室ここん より、作業療法士5名が訪問支援を行っております。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1				子どもの特性理解については、担当職員だけではなく園の担任・顧問の作業療法士チーム・療育センターなど必要期間と連携をとりながらその子の発達に応じた遊び、生活方法を支援計画に落とし込み支援しています。  また、幼稚園時間枠・午後枠での時間の過ごし方を変えております。幼稚園時間枠ではクラスのその日の流れに沿って見通しを立てて伝えるだけでなく、必要に応じて目的を与えることでクラスの活動に参加できるように支援しており、午後は小集団活動で特性に沿ってアプローチできる内容の活動を取り入れております。
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	18					子どもと保護者様からのヒアリングだけでなく、作業療法士からの指導も組み入れて作成し、支援しております。 今後も お子様のことを理解し、成長につながる支援計画の作成を心がけます。
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					ありがとうございます。
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					ありがとうございます。 今後も個別支援計画をもとに支援に努めてまいります。
	⑩	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					ありがとうございます。 参加する子ども達に合わせて内容やプログラムを変えて進めております。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17		1			一般社団法人うるの木で 年に6回以上「wacca」という活動を行っております。医療ケアが必要なお子様や障がいのあるお子様とそのきょうだい・ご家族が参加しています。令和7年度はインクルーシブwaccaも開催し、他のお子様との活動ができる場も開催することが出来ました。通常の通所の日には、同敷地内の幼稚園児との交流メインとなりますが、土日開催のwaccaもぜひ活動の機会にしていただけたらと思います。 日程は玄関に常時 掲示しております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					ありがとうございます。
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					ありがとうございます。
	⑭ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18					ありがとうございます。
	⑮ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1				半年に1度以上 個別支援計画の時に面談を行っております。また、定期的に「ゆわっこカフェ」を開催して、保育者や作業療法士からの意見でなく、他の保護者様のお声もきける場を設けております。今後も一人ひとりのこどもをより理解できるように 研修でも話し合っております。
	⑯ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			1		保護者様の気持ちを受け止められるよう、月に1回以上研修を行ったり 職員同士で話し合いや、偏った視点にならないように顧問の作業療法士チームの意見を取り入れながら支援を行っております。気になることやご相談も、送迎時にお声がけください。
	⑰ 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。	17	1				保護者様同士の交流や、情報交換などを目的として 年に6回前後「ゆわっこカフェ」を開催しています。開催日については、玄関に掲示しておりますが 周知ができるよう今後はHUGの連絡でもお伝えできるようにしていきます。
	⑱ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				画像付きで利用時の様子をお伝えしております。また、保護者様からいただいた返信にも目を通して共有しております。  送迎時やHUGアプリなどでも、ご意見やご質問があればお声がけいただければと思います。
	⑲ 定期的にホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	1				R6年度の自己評価結果についてはHPに掲載しております。 R7年度の自己評価結果についても文面で3月末までに回答をお送りし、自己評価表も4月上旬に掲載予定となっております。 毎年3月末～4月初旬に掲載しておりますので見ていただけましたら幸いです。
⑳ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					ありがとうございます。今後も徹底してまいります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉑	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17				1	マニュアルに関しては、玄関でどなたでも閲覧できるようにファイルにまとめて用意しております。手に取ってご覧ください。
	㉒	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17				1	基本的には幼稚園の避難訓練と同じタイミングにて合同の避難訓練を行っております。また、事業所内だけでも、避難経路の確認、訓練などをおこなっております。
	㉓	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	18					ありがとうございます。
	㉔	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	17	1			事故がなかったため	怪我等などが起きた場合には、その都度保護者様へお伝えするように心がけております。急ぎの場合には電話連絡。様子を見ながら回復した場合でも送迎時やHUGのアプリに記載しお伝えすることを心がけております。
満足度	㉕	こどもは安心感をもって通所していますか。	18					これからも 子供たちがそれぞれ安心できる場所・人・時間が過ごせるように子供目線を大切に取り組んでまいります。
	㉖	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17				1	子ども達ひとりひとりが楽しめるよう支援プログラムを考えていきます。
	㉗	事業所の支援に満足していますか。	18				いつも個別に配慮や工夫がされており、とっても安心して預けることができました！子どもも楽しみに通っていました！ゆわっこに通ってできるようになったことがたくさんあり、また親にも寄り添っていただいたことで育児で悩んでいても、1人じゃないんだと思えました。本当に感謝しています。ありがとうございました。	ありがとうございます！ 悩みを相談して頂けたこと、そして子供たちの成長を感じていただける支援が届けられていてとても嬉しいです。今後も、小さなことでも相談していただける親御様との関係性や 子どもたちとの信頼関係を積み重ねながら支援へ繋げていけるよう努めてまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		一般社団法人うるの木 ゆわっこのおうち		公表日 2026年 3月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		利用者の年齢や活動内容によって、部屋の空間をわけて支援できるスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		利用者に適した職員を配置できるように常に意識している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		施設内のルールについて子どもたちと見直す機会を設けたり、視覚的にルールが伝わるよう写真や絵を掲示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		清掃・消毒を毎日行っている。 利用者に応じて机の配置や数を減らすなどして活動しやすい環境にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		静養室を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		月に1度の研修日、また別途 週に1度情報共有や社員同士の話し合いの場を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者からの意見を聞く場を設けたり、サービス提供記録の保護者からの返信をみて 今後の支援の方針に活かしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎朝ミーティングで当日担当する子供に対する支援をどうしていくかの共有、話し合いが必要な場合には別日に話し合っている。	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		外部顧問や外部理事・連携園などから意見をもらい運営を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		月に1度研修の場を設けている 参加出来ない社員に対しては動画で共有をしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		内容を見やすくまとめている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		短期目標から長期目標を掲げて 保護者にも確認している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		週に1度の 児発管および管理者も参加の上で 職員同士でミーティングの機会を設けており、 支援の方針について確認している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		朝礼でその日の目標や気にかけてたいことを 共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		視覚支援が必要な利用児に、その利用児専用の タイムテーブルを用意して1日の流れを見通しを 持ちながら支援している。課題に対して工夫して日々 支援している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		支援内容を適切に設定し、保護者にも 確認してもらっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		1か月の予定を職員同士で考え作っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		利用者に合わせて 子どもたちの興味をひくような プログラムを意識して作っている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		支援の進み具合に合わせて個別と集団を分けて提案している。 連携園の港北幼稚園の活動時間と当園の時間をこどもの様子に合わせて調整しながら支援出来ている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		朝会にて当日のこどもの支援確認をしHUGに入力・共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	退勤時間がバラバラのため全員そろっての職員が全員そろったタイミングで行うようにしている。 他にも水曜日午後に支援会議の時間を設定している	正職員のための終礼を行い、チャットワークにて共有する。終礼に参加していないスタッフに対してはチャットワークにて確認をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		保護者向けに支援内容を記載し公表。 その内容を職員のみがみれるチャットワークにあげて日々共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
関	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
		(28～30は、センターのみ回答)			対象外	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			対象外	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			対象外	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		事業所が必要と感じた場合だけでなく、保護者から要望があった場合にも 対応している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10		連携園が併設されているため、幼稚園児との交流はしやすい。利用児の状況に合わせてながら活動している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎の利用児の保護者には送迎の短い時間で伝えあっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		親子カフェを定期的開催。利用児の親同士や作業療法士の話が直接聞ける座談会の機会を設けている ペアレント・トレーニングは行っていない。	卒園しても親子カフェを利用したいとの意見がでたため 次年度より、卒業した利用児の保護者も内容によって参加できるようにする
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に利用についての話しは丁寧に行っている。 毎月の支援プログラムも公表し、質問も都度対応している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		毎回、同意を得ている。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		親子カフェの定期開催で、普段 なかなかお会いできない親御様の話すきっかけを提供している。相談もその都度対応できるよう心掛けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		親子カフェを定期開催しており、利用児の保護者様同士での交流の機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		相談の対応については、担当の職員だけでなく必要に応じて関係機関とも連携し、立ち合いをしてもらうなど その時々で必要と思われるベストの対応を心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		関係機関が多いため記録写真の掲載についても、契約時に説明の徹底。意向確認もしている。 ・個人情報特定につながる情報の取り扱いなど、情報管理の研修を行った。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	会話の中で共有しているが、記録として残すことがあまりできていない。	今まで記録に残す作業をある程度決まった人がしていたので 今後は全員ができるようにチャットワークを利用して対応していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		契約時に どのような場合に身体拘束を行うかの例をあげながら必ず説明して理解を得ている。	